



《緑色の太陽》2000

梅津五郎 絵画展

2016年 11月12日[土] → 11月30日[水] 会場 ▶ 白鷹町文化交流センター あゆむ AYU:M

〈特別展示〉

- ・梅津五郎：戦時スケッチブック
- ・画家の魂——アトリエの遺品

開館時間 ▶ 9:00～19:00 休館日 ▶ 月曜日 観覧料 ▶ 一般個人 200円、高校生以下 無料
主催・お問い合わせ ▶ 白鷹町文化交流センター ☎992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 7331 番地 TEL.0238-85-9071

梅津五郎・略歴

1920（大正9）－2003（平成15）

1920（大正9）年、山形県西置賜郡東根村（現在の白鷹町浅立）に生まれる。後に白鷹町畔藤に移住。1933（昭和8）年東根尋常高等小学校卒業。

1938（昭和13）年上京し、昼は絵の勉強、夜は姉の飲食店で手伝いをする生活を送る。1939（昭和14）年、帝展特選の洋画家である森田茂に師事し、次いで1941（昭和16）年、森田の師である熊岡美彦の絵画道場を紹介され、入門する。

その甲斐もあり1943（昭和18）年、第11回東光展に《机上静物》が初入選する。しかし翌1944（昭和19）年には、戦争に召集され、画業は中断される。

戦後の1946（昭和21）年、第2回日展に郷里の山形を描いた《秋》が初入選する。以後、東光会と日展が主な発表の場となる。1956（昭和31）年の第12回日展では、自らが働く中華料理店を描いた《調理場》が特選を受賞する。

1962（昭和37）年にはフランスに留学し、一転して色彩が豊かで鮮やかになる。1964（昭和39）年の第7回日展では、南仏を描いた《風景》が特選を受賞する。

浅草鳥越から下落合に引っ越した1967（昭和42）年頃から、制作の取材のために日本各地に赴くようになる。滞欧期に培われた豊かな色彩感を活かし、極めて厚塗りのタッチで日本の風景を描く。

1980年代からは前述の日本各地の風景に加え、アトリエから見える街の風景や月を描いた作品が多くなり、新境地を示す。

東光会理事長、日展参与などの重責を担いながら、一方で売り絵を描かない、注文の絵は描かないという厳しい姿勢を貫き、市場の評価を犠牲にしながらも主要作品多数を手元に置いておいた。晩年、郷里の白鷹町に代表作など120点余を寄贈する。

2003（平成15）年、83歳で没する。



梅津五郎芸術賞

第2回全国絵画公募展 [入選作発表]

会 期：2016年12月6日[火]
～12月23日[金]
会 場：白鷹町文化交流センターあゆーむ
(ギャラリー)
休館日：月曜日
開館時間：9：00～19：00
観覧料：無料
主 催：梅津五郎芸術賞公募展実行委員会
共 催：白鷹町文化交流センター
後 援：白鷹町、白鷹町教育委員会



白鷹町文化交流センター あゆーむ Ayu:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

■お車でお越しの場合／山形市より国道348号線で約35分

■電車でお越しの場合／赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線
〔荒砥行き〕で「四季の郷駅」下車（赤湯駅から約50分）徒歩約4分